

令和5年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

鳥取県

行事名称	第70回文化財防火デー消防演習
実施期間・日時	令和6年2月4日（日）午前9時00分から午前9時30分まで
実施場所	地蔵院（倉吉市関金町関金宿 1218）
主催者	倉吉市消防団 関金第2分団

■実施内容

訓練の想定

地蔵院敷地内の建物から炎と煙が出ているのに気づいた通行人が119番通報。北東からの強風により火災は、木造地蔵菩薩半跏像（国指定重要文化財）の安置される収蔵庫への延焼の恐れもある。通報を受けた消防局指令課は、直ちに倉吉市に連絡し、倉吉市消防団を出動させ、消火活動を開始する。

訓練の内容

通行人による火災発見、通報、消防団による放水訓練を実施。

参加者及び役割分担

倉吉市消防団（本部1名）指揮訓練
倉吉市消防団（関金第2分団15名）放水訓練
倉吉市教育委員会文化財課（2名）現場立会い
鳥取県文化財保護指導員（1名）現場立会い

特に工夫した点

無線等によって密に連絡をとり、スムーズな消火活動を実施した。

問題点・課題

今回の訓練は積雪が少なく、迅速に消火活動を行うことが出来たが、積雪の多い年は、対象物とその周辺、道路などを定期的に除雪し、消火活動に支障がでないよう維持することが課題。

その他

毎年文化財防火デーにあわせて消防訓練を行うことで、地元消防団や地区住民の文化財愛護意識の高揚を図り、防災の必要性を確認する機会となっており、今後も継続して実施することが重要。

訓練風景

